

令和8年度
一般選抜（前期日程）

共生社会創成学部 共生社会創成学科 聴覚障害コース
小論文

解答例

【出題意図】

高校卒業程度までの学力を基盤とした、「論理的思考力」「判断力」「表現力」を、多角的に評価することを目的としている。

日本語の基礎的な能力（読解力、表現力・表記力）、資料等の読解力及び論理的思考力を重視している。

解答用紙

問題(小論文)

(1)

(ア)、(イ)、(エ)

(2)

図 1 から、防災行政無線や電子メールなど一般的な情報手段が多く使われている一方で、手話通訳や要約筆記、音訳・点訳など、障害特性に応じた手段は極めて少ないことが分かる。また図 2 からは、人材不足や予算不足、関係機関との連携不足など、運用面の課題が大きいことが読み取れる。このことから、自治体の防災担当者として優先的に取り組むべきは、まず「情報支援人材の育成と配置」である。聴覚障害者のための手話通訳者・要約筆記者、視覚障害者のための音声支援員などを、防災訓練に組み込むことで平時からの実践力を高めるべきである。さらに、障害者福祉部門や地域の団体と協力して、障害特性に応じた個別支援計画を整備し、実効性ある支援体制を構築することも必要である。加えて、手話や字幕、音声など多様なメディアを組み合わせた情報発信を行うことで、誰もが安全に避難できるインクルーシブな防災体制を実現できると考える。

200

400